



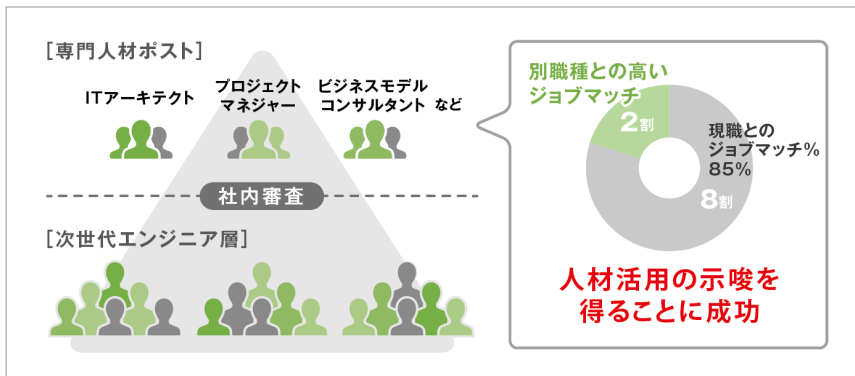
“人材を活かしきれているのか？” という問いに、ジョブマッチ%は 道筋を示してくれた

導入背景

企業としての価値を最大化し、業績を向上させるべく、ITシステム開発を展開する同社は、自社に在籍する約1万名の社員の能力を最大化させることに長らく向き合ってきました。社内における人事制度を構築に客観的な指標を盛り込むべく、各種人材アセスメントの導入を検討した結果、「人材と職務のマッチング」をコンセプトにするProfileXTを専門人材対象に実施することに決めました。

ソリューション

専門人材ポスト：全6職種におけるハイパーフォーマー分析と外部モデルとの比較を約3ヶ月で実施、プロジェクト実施レポートが提出されました。分析の結果、専門職・現職者の約8割の人は職務マッチ85%と比較的高い数値が示され、自社の見立ての確からしさが検証されました。一方で、現職者よりも別職種の方が高いジョブマッチ%を示す人材も約2割存在することが判明し、今後の人材のキャリアプランニングにおける客観的な示唆を得ることに成功しています。



効果

- ◎8割の現職者が今の職務にマッチしていることが確認できた
- ◎約2割の人材に今の仕事より適性のある職務があることが発見できた

User's Voice

初回のプロジェクトでPXTの価値を認識。その後、AIやセキュリティといった事業領域に導入の幅を広げています。

初回プロジェクトの結果を現場に共有したところ、ポジティブな反応を得ることができ、今後の活用アプローチを議論することができました。その結果、当初の専門職だけでなく、AIやセキュリティといった今後の当社の事業を支える部門へと実施対象を広げています。自社で内製化活用できるGAC（グローバルアセスメントセンター）も巧みに設計されており、自社運用の役に立っています。



CASE 09

エンジニア選抜

業界
製造業/システム開発

規模
200名

モデル
専門人材の選抜と育成

人と職務のフィットを測定する 戦略的人材アセスメント ProfileXT®とは

どんな人が優れた成果を上げるのか———？

20年間にわたる36万人へのキャリア追跡調査の結果、職務にフィットしている人材は、そうでない人材と比較して、およそ2.5倍の生産性をもたらすという研究結果が報告されています。優れた成果を達成する人材は、学歴や仕事への経験値等ではなく、「その人材がどれだけその職務にフィットしているか」が最も重要な要素であることが証明されているのです。ProfileXT® (PXT) は人と職務のフィットを測定し、組織の適材適所の実現を強力に支援します。

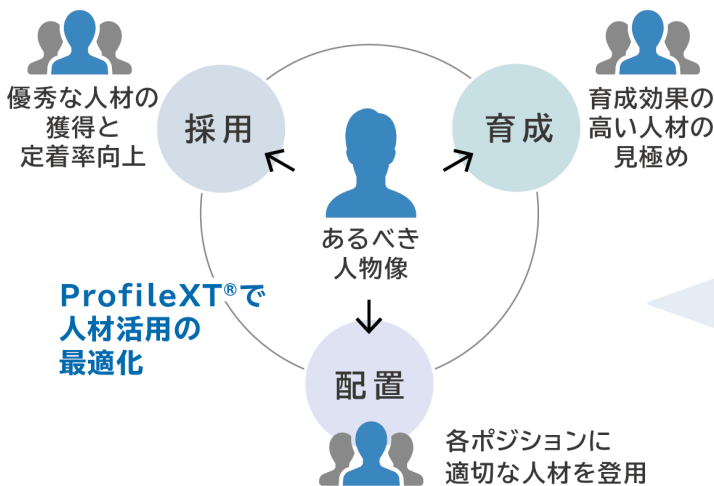
ProfileXT®導入前 企業に共通する人材活用の課題

採用	<input checked="" type="checkbox"/> 採用におけるミスマッチを解消したい <input checked="" type="checkbox"/> 優秀な人材の離職を減らし定着率を向上したい
配置	<input checked="" type="checkbox"/> 直感や勘に頼った配置や登用を見直したい <input checked="" type="checkbox"/> 次世代を担う人材プールが不足している
育成	<input checked="" type="checkbox"/> 投資効果が上がらない育成施策を立て直したい <input checked="" type="checkbox"/> 人材の能力を埋もれさせてしまっている



顕在化している領域
潜在化している領域
課題解決のヒントは氷山の下に隠されている

ProfileXT®導入後 人と職務のフィットを測定し人材の生産性を最大化する



ProfileXT®3つの特徴

- ▶ 1. 企業独自の成功像「パフォーマンスモデル」の作成
自社向けにカスタマイズした職務モデルを自由に設計
- ▶ 2. 人材マネジメントの全領域に適用可能
1回のアセスメントで採用-配置-育成に対応し人材データを蓄積・評価
- ▶ 3. 多言語対応と世界最高水準のクオリティ
33言語での自由なレポート出力と言語毎に検証された妥当性と信頼性
125ヶ国 世界4万社で展開する世界標準の科学的ソリューション

ProfileXT®の動き

【人材データ】

【パフォーマンスモデル】

各種ジョブフィットレポートを提供